



クラウドファンディング40日間のチャレンジを経て、長年継続してきた『にほんかるた』づくりを完成させることができました。

プロジェクト名を「にほんかるたを届けたい」ではなく「届ける!」とし、強い気持ちでスタートしたもののゴールが遠く感じるときもありました。

しかし、心温まる応援のおかげで私たちは活力をいただき、こうして様々な場所にかるたをお届けすることができました。

『にほんかるた』をとおして築けたつながりを大切にするとともに、今回の学びを事業発展にいかしていきたいと思ひます。

また明るいニュースをご報告できるようスタッフ一同取り組んでまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたひます。

令和4年11月吉日

日本生活・語学支援機構
理事長 宮原 睦子

にほんカルタ 誕生からいま

2015年、エルジェは活動の一環として、かるたをつかったワークショップを開催しました。様々な国や地域から来日した人と日本人の参加者が「にほん」をテーマにかるたをつくる交流イベント※です。

私たちは、そこで集まったアイデアをもとに内容を見直し、様々な分野の専門家にご協力いただきながら『にほんカルタ』を作成しました。

イベント開催から7年、より多くの人にかるたを手にもたらせればと、クラウドファンディングに挑戦したところ、100を超えるみなさまからご支援をいただくことができました。

このようにたくさんの方に支えられて完成した『にほんカルタ』は、2022年秋、アイルランドやアメリカ、インドネシア、オーストラリア、韓国、台湾、中国、ニュージーランド、ブラジル、フランス、メキシコ、日本各地に向けて羽ばたきました。

※一般財団法人YS市庭コミュニティー財団の助成事業

みんなのこえ ～世界各地から～



守山市民交流センター内で開催している日本語教室に参加している外国人と一緒に使いました。日本の文化が盛り込まれていて非常に良かったです。全てひらがなでしたが、句読点があればもっと良かったです。例えば、「よういどん みんなではしる うんどうかい」は、「みんなでは、しる」と読んでしまうことがあります。句読点があれば「みんなではしる」と読めます。

滋賀県：守山市国際交流協会

大人1名年少者3名の地域の日本語講座でウォームアップとして使用しました。初級クラスのため、「読みあげたひらがなを探すゲーム」としての使用です。ひらがなさえある程度わかれば誰でも参加できるゲームというのは、本当に助かります。読み札の内容は生活者にとって役に立つ知識なので、どうやったら読み札の内容に興味を持ってもらえるのか思案中です。次は中上級・上級レベルの留学生のクラスでも使ってみたいと思います。

兵庫県：三宅靖子



日本人会の継承語教室で、小学生の子供達と使いました。フランスはバカンスに入っていたため、欠席のお子さんもいました。ひらがなを始めたばかりの子供もいるため、二人一組でカルタに取り組みました。思った以上に白熱したカルタ取りになり、子供は何度もやりたがりました。さらに、来週もまたやりたいの声が多かったです。挿絵はとても興味を持った様子でした。日本語での名称は知らなく

ても、日本で経験したことがあるかと思いついたそうです。物の名前だけではなく挨拶や習慣などの言葉が入っていたのも良かったそうです。

フランス：てらこや代表

申し訳ありませんが、まだ使う機会がありません。地域日本語教室でボランティアをしていますので、そこで使えたら、と思っています。

東京都：ゆうみん

私はケアンズ補習授業校で1年生の担任をしています。授業中にかるたの絵を見ながら読み札のかるたを読みました。分からない言葉がたくさん出てきたので質問の嵐でした。「とめはねはらい きれいなもじを かくきほん」などは授業でも使えると思いましたし、紙芝居は知らない子が多くいたので、今度読んであげたいと思います。読み札を読んで色々考えさせられました。1年間の内容を38回位の授業で終わらせるので、授業以外の事をする時間がなかなか取れないのですが、読み札の言葉がとても良かったので、これからの授業でも使いたいと思っています。かるたを知っている子が多くいてとても盛り上がりました。ありがとうございました。

オーストラリア：カフカまゆみ

日本語指導をしている区立小学校で1年生～4年生6人で使いました。カルタを知らない児童がほとんどでしたが、すぐルールを理解し、楽しんで学びました。子供には、お中元等難しいかなと思ったのですが、七五三は、7歳5歳3歳のお祝いだと言うと「ぼく、もう9さいです。できませんか?」と子供らしい返事が返ってきました。「またつぎもやりたい」と大好評でした。数が多いので、今週はあ行～さ行のようにわけて遊びました。1年生等は平仮名を全て学び終わった後だったので、進んで読み手もしてくれました。

東京都：風鈴



公益・大連日本語サークルの活動で、カルタをしました。参加者として中国人8名、カルタの読み手として日本人2名の計10名で使いました。「カルタ取り」と「カードを見て交流する」の2つを行いました。参加者は日本語上級者で、これまでカルタの経験がある人たちだったためカルタ取りゲームもスムーズに進行し、読み札を読み終わる前にすぐにカードが取られ、ゲームの時間もそれほどかかりませんでした。そこで、カードが少なくなってきたら、ブラフカード（迷わせるためにすでにとったカルタの札ももう一度読む）を入れてやりました。そして、カルタ取りが終わってから、もう一度みんなで絵札を見直して、絵札に書いてあるものを知っているか、これは何かなど、日本語で交流をしました。中国人学習者（漢字圏）のため、読み札がひらがなだけだと読みにくく、「ん」と「を」も理解しにくかったようです。カルタゲームの後の絵札をみながらの交流では、参加者の自分の日本旅行・留学の体験話で話しが弾みました!

中国：<こー



大学の交換留学生のクラスでアイスブレイクの時間に使用しました。日本語学習歴は2年程度から4年程度の様々な背景を持つ学生が集まるクラスですが、初来日の学生が在籍するため、日本の生活、文化風俗が楽しく学べる教材を探していました。日本語レベル上級の学生であっても、へのへのもへじ、てるてるぼうずなど、知らない言葉や文化がたくさんあり、講師にとっても大きな発見でした。一番盛り上がったのが「ヨーイドン」の掛け声です。各国の掛け声を紹介し合うなど非常に活発なやりとりができました。学生にも感想を聞きましたが「絵がかわいい」「知らない文化をたくさん知ることができた」と好評でした。読み札を読んだ学生からは、「ひらがなばかりで読むのが大変」との声もありましたが、575のリズムを楽しんでいました。

東京都：栃木亜寿香



小学4年生の日本語クラスで使いました。彼らは、かなを読むことができ、漢字も学習しています。カルタ遊びをし、大変盛り上がりました。カルタ遊びの後、絵札にある絵を見て、知らない言葉を確認し、意味を説明しました。例えば、「お中元」など。分かりやすい絵札だから、とりやすいと子どもたちは言うておりました。カルタ遊びが盛り上がり、札を取るときの力もかなり強くなります。できましたら、もう少し札に厚みがあると、耐久性がいいかと思われま。幅広い年齢層の日本語学習者の方が遊びながら、平仮名は勿論、日本の習慣や文化を学べるカルタをありがとうございます。特に中高生や成人の学習者向けのカルタはあまりなく、重宝します。読み札のフォントも教科書体で読みやすいです。次回は、初級用のカルタも作っていただけるとありがたいです。

京都府：エトウ

北京海淀外国語学校の四年生たち21名と一緒に授業のイベントとして使用しました。この子供たちは1年生の頃から日本語を勉強しているため、ひらがな、カタカナはもちろん、簡単な日本語を話すことができます。ですのでまずはカルタがどのようなものなのか、どんなルールがあるのかを説明し、実際にカルタを体験させました。読み手は教師である私がやっていたのですが、観戦組の生徒たちが興味を示したので試しに読ませてみました。内容こそ理解はできていないものの上手に読み、取り手は簡単な単語などは理解しており、楽しそうに遊んでいました。1時間の授業では時間が足りませんでした。授業の最後に「どうでしたか」と聞くと「楽しかった」「おもしろかった」「簡単でした」などと言って満足そうにしていました。授業後も、「このカルタはどこで買ったの？僕も欲しい！」などと言ってくる生徒が数名いました。よほど楽しかったようです。

中国：片山



子どもには難しいもの・知らないものが多くて途中で断念しました。もう一度お正月明けに使ってみたいと思いますが、その前に子どもたちに語彙を教える時間を持ちたいと思いました。純粋にカルタとして使うには内容が日本文化をよく知っていなければならず、子どもには難しすぎるため、最初の「音」だけでとるカルタ取りになってしまうからです。カルタの取り札が七五調になっているので、リズムを体感できるように読み聞かせたいと思います。

神奈川県：地球っ子教室

現在は対面での日本語指導は小学校低学年の子がほとんどで、大人にはオンラインのみの授業のため、実際には使用できていませんが、手にした感想を書きます。最初に、カラフルで、読み札の内容をイメージしやすい絵札だと思いました。ひらがなの学習とともに、日本の生活や文化を楽しく学べ、日本語の学習が進んだ小学校高学年以上の児童・生徒にも使えそうだと思います。最近では、日本の子ども達も「お中元」、「鶴と亀」の意味など、知らないことも多くありそうなので、外国ルーツの人々だけでなく、日本の子ども達が日本の文化などを学ぶツールにもなりそうです。外国ルーツと日本の子ども達が一緒にカルタをして、関心を持った札についてグループごとに調べて発表するなどの活動ができたら楽しそうだと思います。

東京都：Yuko Fujiwara



初心者の子どもたち(10~15歳くらい)と使いました。文字学習がまだ終わってない子どもたちだったので、ひらがなを覚えさせるためにつかいました。絵がきれいで皆とても興味を持ってカードに見入っていました。遠い知らない国に思いをはせている様子がうかがえました。大人の個人授業では1枚1枚のカードの意味をとり、日本の文化風習を学びました。今後の発展として、自分だったら「あ・い・う・え・お」～「ん」までのカードをつくるとしたらどんな文章を選ぶか考えてみよう!というのをやってみようということになりました。

フランス：スナオシ

特別支援学級の言語課題があり、読み困難の児童とカルタをしました。語彙の拡充として日本文化を教えるのに最適です。文字も大きくて読みやすいです。そして、カルタの大きさも子供が持つのにちょうどよいと思います。長文を読むと息切れして拒否しますが、このかるたくらいの短文なら読むことができます。大切に使用させて頂きます。良い教材の1つになりました。

東京都：てまり



アイルランド：ママベア

カルタを受け取りましたが、コロナの影響で日本語授業がオンラインのみで行うためまだ使っていません。今後、日本語の授業でカルタを使ってゲームしながら日本文化を教えたりする予定です。カルタを使用して楽しく授業することを楽しみにしています。

東京都：株式会社マックス

コロナの影響でまだ対面式のクラス授業が少ないため、残念ながら使えるチャンスがありませんでした。使えるようになったら、N4レベルの学生を対象に使ってみたいと思います。N5レベルの学生は、絵の札だけを使って、五十音図を覚えさせるゲームをしたいです。カルタについての歴史から入り、まずは、学生たちにゲームのやり方・札に書いてある内容を説明して、カルタ関係のアニメ・動画を見せたいと思っています。一見簡単そうな遊びですが、日本語初級者にとっては、とても役に立つと思います。学生たちの反応を期待しています。中国人の学生にとっては漢字があればとても理解しやすいので、上にふりがなが記入されている漢字バージョンの和歌リストを一枚の紙に印刷し、一緒に配布されるともっと印象に残るかもしれません。

中国：りんちゃん



日本の小学校に通っている外国籍の子どもと一緒に使いました。日本に来て4年ほど。来日当初は日本の習慣、行事がわかりませんでした。今回のカルタで、今どれくらい日本のことを理解しているかがわかりました。カルタの内容の7割ほどはしっかり理解していました。ゲームとして楽しみながら覚えるのはもちろん、今どれくらい日本の習慣、行事を理解しているかを知るためにも良いアイテムだと思います。

岡山県：FK



ボランティア教室の学習者4名で指導時間中に使いました。急造クラスでレベルも違うので、まずは私が読んで他の4名が取ることから始めました。一番レベルが高くて日本在住期間が長い学習者にとっては子供っぽく感じたらしく、あまり積極的には参加していませんでしたが、他の3名は枚数を競って取っていました。その後、取った絵札に相応する読み札を学習者が読んで、その意味をみんなで考えたり調べたりする活動をしました。この活動は、在住歴の長い学習者が活躍してくれました。「を、ん」の札は理解しにくく今回は除けて使いました。日本の文化や習慣については、みなさんとても興味を持った様子でした。

東京都：acco

わたしたちはミャンマー出身の難民的背景を持つ人々などと毎週日曜日に東京・高田馬場駅の近くで日本語活動をしている団体です。カルタを使った日は12名の参加者がいました。活動のアイスブレイキングで、カルタ取りをしました。まず、カルタに関する説明をしてから始めました。一枚一枚、カルタの背景にあることを確認しながら20枚ほど行いました。「楽しかった」との声が多かったです。今回の活動は初参加の人が4名いましたが、立って、本気でカルタを探すことで緊張もほぐれ、みんなが笑顔になりました。どうもありがとうございました。



東京都：Villa Education Center (VEC)

子どもクラスでも十分使える内容だと思いますが、コロナ禍で接触を控えているため、JLPTのN3取得済のインドネシアの実習生と『にほんカルタ』をやってみました。私が文字札を読み上げ、絵札を取ったら絵札の説明をしてもらい、正解したら彼の勝ち。うまく説明できなかつたら私の勝ちというルールにしました。日本の習慣／風習について知らないこともあったようです。「楽しい」とやっていました。コロナが終息したら、子どもクラスや日本語初学者が参加した時に数人でやってみたいと考えています。素晴らしいカルタをお送りいただきありがとうございました。これからも有効に使わせていただきます。



埼玉県：啓秀

イラストも可愛いく、初級レベルの日本語学習者の読む練習にも使えると思いました。クラスなどで使うとすると、複数セット必ず必要になってくると思います。すべてひらがななので、初級でも読めますが、カルタに入っている単語は割と難しい単語も入っているため裏か何かに英訳などがあるとアメリカでは使いやすいです。

アメリカ：原義之



インドネシア人の外国人技能実習生、ベトナム人、ベトナム人の外国人技能実習生、特定技能のみなです。絵が可愛くて馴染みやすいです。日本の文化が知れてよかったです。

栃木県：株式会社斎藤鉄筋工業

大学の日本文化研究社(部)で、ちょうどボードゲームをする回があり、その時に他のボードゲームといっしょに遊びました。カルタなので遊びとしては簡単でしたが、台湾の学生にとっては平仮名だけの読み札はなかなか難しいものでした。普通に遊ぶのでは簡単すぎるので、学生が独自に「読み手が読み終わるまでは札をとってはいけない」というルールを決めました。そうするといつ読み終わったのかわからない、という状況がときどき発生し、ゲームとして楽しめました。平仮名さえ読めれば誰でも参加できるところが、ハードルが低くてよかったと思います。また、授業で習った日本語の「五七五」を基本とするリズムへの理解が深まったと感じた学生もいました。

台湾：武藤(大葉大学)



日本語学習をしている私立高校のクラスのみんで遊びました。ルールを説明したあと何度か遊びました。みなさん新鮮で最初はわからなかったが、慣れてくると読む人も学生に変えたりして先生抜きで遊べるようにもなりました。今回遊んだクラスは高校2年生で既にN2レベルがあるクラスでした。次は初級レベルでも学生たちだけで遊べるように試してみたいです。カード自体は絵がついており学生にもわかり易かったです。

中国：大连桜華高級中学

普段使用しているカルタと違い、最初の文字が繰り返されているので混乱がみられた。ひらがなを学習中の生徒には使うのが難しかった。初中級の生徒とは会話のきっかけに使ってみた。ひらがなを学習する目的の生徒や語彙力がまだあまりない生徒にも使えるように、丸の中に入っているひらがなは、左によける又は空白を設けるようにして文章とは切り離れた方がわかり易い。

オーストラリア：みゆき

技能実習生の入国後講習で使用。日本の習慣や文化を教えるのにもわかりやすく、ひらがなを読む練習にもなりました。日本の四季や生活のルールなどテーマ毎のカルタがあるとおもしろいと思います。

大分県：谷口

学内の日本語授業にて使用しました。教員や学生が読み札を読み、学生が競いました。なかなかみんな真剣でした。

兵庫県：大学教員



残念ながらまだ使用できていませんが、今後カルタのレベルに合った学習者が出てきた際に、学期末のお楽しみ等で使用したいと思います。

東京都：藤尾喜代子



草津市国際交流協会が主催する日本語教室（名称：日本語ひろば「きずな」）があります。立命館大学びわこくさつキャンパスで留学生を中心にボランティアスタッフが無料で日本語を教えています。中上級クラスがカルタで遊びました。日本語を学びながら同時に日本の文化を学ぶこと、絵柄もとてもかわいいこと、そしてみんなで一緒に遊びながら楽しく学べるということが、スタッフや生徒達にとっても喜ばれました。当日の教室は、みなさん和気あいあいと盛り上がりイベントのような楽しさになりました。また、実際に「にほんカルタ」で遊んだ後にその有用性を実感したスタッフより自分でもぜひカルタをほしいという声も聞かれました。この度は「にほんカルタ」を送っていただきまして、どうもありがとうございました。

滋賀県：日本語ひろば「きずな」スタッフ

とても素敵な絵柄のカルタですね!! いろいろな日本文化がわかりやすく紹介されていて、きっとみんな喜ぶと思います。ありがとうございます。今はコロナの影響でボランティア先に入れないので、まだ未使用ですが、これからどんなふうにこのカルタで交流をはかっていくか考えるだけでワクワクします。

台湾：noriko

友達とカルタを使いました。最初はカルタのルールを探して、全部のカードを見て、後でやってみました。楽しかったです。友達も日本語を勉強していますから。

メキシコ：イタ



4年生と8年生で実施しました。4年生は全くの初心者で、ひらがなしか読めない生徒に読み札を分けて渡し、順番に読みました。少し緊張しながらも自分の番が楽しみで、事前に取り札を目で追ったりと、楽しんでいました。8年生の初心者クラスでは、普段は夢中にならない生徒も目の色を変えて、「何枚とった」「君より何枚多い」など乗り出してカルタを楽しみました。読み札にある初めて聞く言葉の意味を質問してきたりして、よく練られているカルタだと思います。ありがとうございました。

東京都：きたせんせい

「にほんカルタ」を学校での日本語会話の授業として取り入れました。カルタ実施中、絵札をとった学生には、札に何が書かれていて、札からわかることは何か、読み札には何と書いてあったか答えてもらうようにしました。中国の学生にとって、「ん（日本語はなんでこんなに文字多い?）」の札は、当てはまらないので、学生たちが次のような「ん」の文を作りました。「日本語は ひらがな50で 文書ける」「中国と日本の漢字なぜ違う」読み札1枚だけで、ずいぶん大きなテーマになり、そこから世界の人から見た日本、日本人から見た中国の漢字、日本と中国の漢字の違いにまで発展しました。「にほんカルタ」が教えてくれたことは無限にあります。46のテーマを軸として発展させ、語学学習、文化活動へとつなげていくなど、今後も学生とともにさまざまな活用法を考えたいと思っています。

中国：横山明子



応援いただいたみなさま

（敬称略・50音順）

●カルタの制作

一般社団法人浅草観光連盟／一般社団法人運動会協会／一般財団法人 消防防災科学センター／一般社団法人 全国鰻蒲焼商協会／一般社団法人日本靴協会 ランドセル工業会／一般社団法人日本グローバルマナー協会／一般社団法人 日本伝統建築技術保存会／一般社団法人日本人形協会／一般社団法人日本百貨店協会／一般財団法人民族衣裳文化普及協会／一般社団法人和食文化国民会議／NPO 法人日本茶インストラクター協会 / NPO 法人日本ハウスクリーニング協会／尾花沢市商工観光課／協同組合オリセン／釧路市教育委員会／公益社団法人日本煙火協会／公益社団法人日本薬剤師会／高円寺氷川神社・気象神社／神社本庁／全国ぬかづけのもと工業会／全国和菓子協会／東京消防庁／東武タワースカイツリー株式会社／日本玩具博物館／日本鯉のぼり協会／日本水フォーラム（認定 NPO 法人）／富士河口湖町観光課

●クラウドファンディング「にほんカルタを世界へ届ける！」

アキヤママサミ／朝倉敏文／池田義道／NPO 法人メダカのがっこう／笠井順／(株)アイアンドアイ 高橋有美／株式会社エイチアンドエス／株式会社斎藤鉄筋工業／小林プライアーひとみ／呉昌樹／コレ由美子／近藤裕介／齋藤久美／塩見知恵子／出雲謙一／神恵介／すぎなみ Karuta / 鈴木祐二／竹取りの翁さま／田部圭子／千代延勝利／堂処悦子／西山美香／ハオジェー代表 トニー中田／伴いくみ／細川修一／前田浩一／松田母 茶道仲間／森俊樹／柳澤明美／山本文子／莉都／渡邊信司／渡邊洋行／KEMI Y / aki tahara / gazy / Hato / KOSUGI Miwa / Naomi Watanabe James / Rocky / romannad / scrutineer100 / Susumu / Yad / Yuko Fujiwara

●2015年度「いっしょにつくろう『にほんカルタ』」事業

一般財団法人 YS 市庭コミュニティ財団／イベント参加者／すぎなみ協働プラザ／坂東いづみ

他57名のみなさま

●プロジェクト応援

エルジェ日本語教室学習者／株式会社ジオグリフ／株式会社 新栄社／株式会社ぷろだくしょんバオバブ／杉並区社会福祉協議会 杉並ボランティアセンター／ヒューマンアカデミー新宿校

これからのにほんカルタ

2023年1月、世界中から参加できるイベント
オンラインかるたとり大会を開催します！

にほんカルタ でかるたとり

日付 日本時間 2023年1月21日(土) 14:00-16:00

場所 Zoom オンライン 開催

人数 先着40名

参加費 無料

応募方法 フォームからお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/PUDSBRGBXt>

応募期間 日本時間 12月18日(日) まで

問い合わせ にほんカルタ事務局
karuta@lj-j.org 03-6685-0202

応募フォーム



かるたがつくる友好の輪

一般財団法人杉並区交流協会や特定非営利活動法人日本ウクライナ友好協会 KRAIANY のみなさまにもお贈りすることができました。



プロジェクトメンバーの想い



今回のプロジェクトでは、ロゴ作成を担当しました。カルタを手にするみなさんが一番はじめに目にする『にほんカルタ』の文字です。日本語が母語でない方にも読みやすく、カルタを身近に感じてもらえるように一文字一文字書きました。皆様のご支援のおかげプロジェクトを達成することができ大変嬉しく思っています。すでにカルタは世界各地に届けられています。さらに多くの方々に手に取ってもらい、遊んで、知って、学んで頂けたら幸いです。

書道家 麻田 紫芳



絵札を制作する中で、このイラストで喜んでいただけるだろうか、楽しく遊んでいただけるだろうか、と悩むことが何度もありました。しかし、この度皆様のご支援くださったお陰で『にほんカルタ』が多くの人の手に渡り、「素敵な絵柄」「イラストが可愛い」と、とても嬉しいお言葉を沢山いただくことが出来ました。今は嬉しさと安堵と感謝でいっぱいです。『にほんカルタ』に興味を持ってくださった方々、ご支援くださった方々、皆様本当にありがとうございます。

イラストレーター Basi(ばじ。)



7年前にエルジェで開発した『にほんカルタ』が、ようやくご希望の方のお手元に届けられることになりました。ご支援を賜り、誠にありがとうございました！日本に関する理解だけでなく、人々のつながりや絆を深めるきっかけづくりに、きっとこの『にほんカルタ』が活躍するでしょう。皆様のあたたかいお力添えとエルジェのスタッフのこれまでの道のりに思いを馳せ、胸がいっぱいになります。人が出会い、知り合い、わかり合うため、『にほんカルタ』はいま世界へ大きく羽ばたいていきます！

日本生活・語学支援機構 日本語指導顧問 小林 ひとみ



カルタを世界にお届けできたのは、みなさまのご支援の賜と厚く御礼申し上げます。小さなお子さまが、読み札をすらすら暗唱できるようになったとか、絵札をつかって「あいうえお」の勉強をしているといったことも耳にし、カルタがさまざまなお役に立っていることに望外の喜びを感じています。これからも『にほんカルタ』の可能性を広げたいと思いますので、引き続きプロジェクトを見守っていただければ幸いです。このたびは誠にありがとうございました。

にほんカルタ事務局長 齋藤 滋

結びのご挨拶

クラウドファンディングによって『にほんカルタ』をお送りできたのは、51 先のみなさまでした。

しかし、配達事情の関係で、まだ受け取ることができていない方も、到着していても新型コロナウイルス感染症の影響で、つかうことができていない方もいらっしゃいます。

かるたを囲んで集える場が増え、かるたをきっかけに「にほん」に興味を持ってもらえ、「にほん」のことをより深く知ってもらえればと願っています。

プロジェクトを応援くださったみなさま、ご感想やアイデアをくださったみなさま、ご協力ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



日本生活・語学支援機構
Japan Life and Language Support

特定非営利活動法人日本生活・語学支援機構(エルジェ)
Japan Life and Language Support Organization (LJ)
〒167-0053 東京都杉並区西荻南 1-19-21 まえかわ歯科医院気付
c/o Maekawa Shika, 1-19-21 Nishiogi-minami, Suginami-ku Tokyo 167-0053
Tel : 03-6685-0202 Website : <https://www.lj-j.org/>